

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 1/13)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (T-1) (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (T-2-1) (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点) ¹		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時	2017年1月12日 7時00分		2017年1月12日 7時05分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND(0.65)	-	ND(0.74)	-	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.67)	-	ND(0.62)	-	60
Cs-137 (約30年)	ND(0.68)	-	ND(0.71)	-	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

1 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1~4号機放水口から南側に約330m地点(T-2)において試料を採取。(2016年9月16日~)

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果

(データ集約：1/13)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水(東波除堤北側)		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	2016年12月5日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND(0.54)	-	40
Cs-134 (約2年)	0.66	0.01	60
Cs-137 (約30年)	3.3	0.04	90
H-3 (約12年)	18	0.00	60,000
全	ND(2.0)	-	-
全	17	-	-
Sr-90 (約29年)	0.45	0.02	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

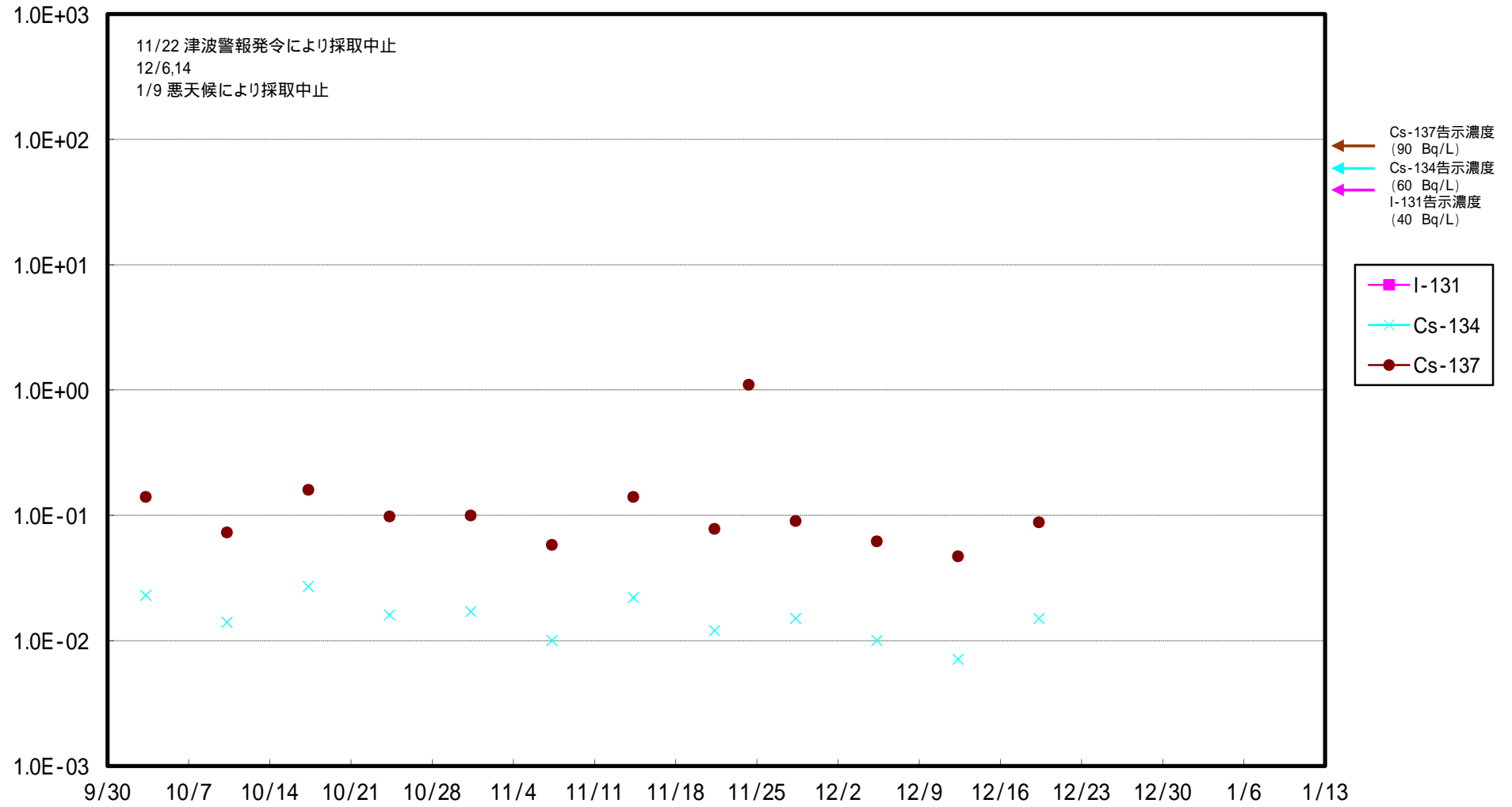
I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については、2016年12月6日公表。H-3については、2016年12月9日公表。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、H-3, Sr-90の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一 5,6号機放水口北側(T-1) 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 南放水口付近(T-2-1) 海水放射能濃度 (Bq / L)

